

市民厚生常任委員会 会議記録

- 1 日 時 令和8年4月28日（火曜日） 午前11時30分開会 午後0時13分散会
- 2 場 所 第二委員会室
- 3 出席委員 田中、田原（洋）、池田、関原、東野、中村の各委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 委員外議員 古畑議長、松田、渡辺、田原（実）、保坂の各議員
- 6 説明員 久保田市長、井川副市長、猪又政策監（渉外担当）、嶋田政策監（特命担当）
林健康増進課長、田中同課長補佐、川原同課長補佐
山岸福祉事務所長、須澤同次長、小林同係長
木島税務保険課長、田代同課長補佐、渡辺同課長補佐
- 7 事務局職員 磯貝事務局長、清水主査
- 8 本日の会議に付した事件
(1) 上越圏域の医療再編について
(2) その他

9 経過と結果

○田中委員長

ただいまから市民厚生常任委員会を開会いたします。

欠席通告委員はありません。

定足数に達しておりますので、直ちに会議に入ります。

審査の順序につきましては、配付しました協議題により進めます。

なお、委員外議員の発言につきましては、先例申合せのとおり、委員の発言終了後、申出があれば休憩を取りますので、発言の許可を求めてください。

(1) 上越圏域の医療再編について

○田中委員長

これより、協議題の1、上越圏域の医療再編についてを議題といたします。

担当課の説明を求めます。

○林課長

今ほどは県との協議会、大変お疲れ様でございました。

この後、今、県から上越圏域における医療再編の方向性について説明がありましたので、その内容について我々行政側にご意見ご質問いただいて、受け答えをさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○田中委員長

説明が終わりましたので、直ちに質疑に入ります。

今、説明がありましたように今回の所管事項調査は、ただいまの県のほうの説明を受けて、所管事項調査として臨みたいということでもありますので、同じ質問でも何でも結構です。皆さ

んの活発な質疑をお願いしたいと思います。

ご質疑ございませんか。

○中村委員

先ほどの中でちょっと時間がなくて聞けなかったんですけど、オンライン診療、今後は糸魚川市の進め方として県と一緒にやっていくのか、糸魚川市独自としてやっていくのか。それかやらないのか、それを聞かせてください。

○田中課長補佐

オンライン診療につきまして、令和7年度に県の実証事業で、県と一緒にですね、糸魚川総合病院のほうで模擬診療を実施しております。今回、一次救急の部分に少し特化して試験的に県と一緒に、糸魚川総合病院と一緒に取り組んできました。課題等も見えてきましたので、こういった診療についてオンライン診療を導入していくか、また現場の負担が増えないように、こういった形がいいのか、そこはまた現場、県と協議しながら導入できるように、我々としては取組を進めていきたいというふうに考えています。

○中村委員

ちょっと心配っていうか、疑問だったのが、要は診療費ですよ。

オンラインでやってるものだから、どこで支払いするのかっていうのがちょっとあったんで、オンライン診療するに当たって、特別の口座を作ってそこから天引きになってるとかっていうそういう体制なのか、後日請求書がきて支払いをするのか、その辺はちょっと私疑問だったもんですから、その辺はどうなのでしょう。

○田中課長補佐

昨年度実証事業で取り組みましたのは、まずは患者さんに病院へ来ていただいて、ドクターの不足を補う、現場におられる先生もおられますが、二次救急等に対応する場合もございますので、一次救急的なところを、例えば、診療所におられるドクターとか、家におられるドクターとつないで診療していただくという形を7年度は想定してやっておりました。

患者さんが自宅にいて、オンライン診療を受けられる。当然そういう形もありますが、そういったところはまた病院側と今言われたような課題等も出てきますので、将来的にはそういった仕組みも考えないといけないと思いますので、課題をクリアしながら進めていきたいというふうに思っています。

○中村委員

高齢化がどんどん進む中でね、病院に来る足も、バスもなくなってきている現状なので、やはり家から簡単なやつですよ。月に1回病院へ通って、あと、その後は自宅でオンライン診療を受けられるという体制になれば、ありがたいなというふうに思うんですけど、やはり今後の高齢化を見据えた中でそういうことも考えてるってことでよろしいですか。

○田中課長補佐

各家庭、ご自宅でできる形が一番いいとは我々も思いますが、やはりその機器の操作でありますとか、そういった部分も出てきますので、例えばですけども、地域の公民館とかにまで出向いていただければ、そこで看護師が1名訪問して、ドクターの指示でありますとか、機器の操作と一緒にやってですね、病院におられる先生たちとつなぐ。そういった形もできるのかなというふうに今検討は進めているところであります。

○田中委員長

ほかにございませんか。

○田原副委員長

先ほどの協議会でも私発言させていただいたんですけど、週に3回通う透析患者、例えば今夜間もしていただいていますけど、例えば若い方とか勤務されてる方、夜間透析なくなると、仕事にも影響出てくるんじゃないかって心配されてる方いるんですが、そのあたりの取組とか、考え方とかをお聞かせください。

○林課長

先ほど、県とのやり取りを聞かせていただきました。

県の回答がちょっと歯切れが悪かったなというふうに思ったんですけども、人工透析の問題につきましては、上越の医療再編、地域医療構想の議論が始まった当初に人工透析については、各地域で確実に病院が担っていくってことは、調整会議の中でも確認されている事項なので、糸魚川総合病院で糸魚川市民の方が確実に透析を受けられる体制っていうのは、維持していただけるというふうに私たちは思っていますし、上越の労災病院が閉院いたしましたけども、その分は上越総合病院に増設をして、機能パワーアップして、受入れを行っておりますし、糸魚川については引き続き糸魚川総合病院で約70名の方が人工透析を受けることができるというふうに認識しております。

以上です。

○田中委員長

ほかにございませんか。

○東野委員

先ほど古畑議長のほうからですね、県立病院化っていうところで、本当にそうなるというふうな感じに聞いておったんですけども、そういった中で、医師や看護師などを確保していく上で、やっぱり報酬の部分は経営の状況によってボーナスがありません、半減ですっていう状況の中で、いいお医者さんとか、そういう確保できていくのかなっていう、そういう不安もある中で、例えば市立病院とか県立病院化っていう部分をそろそろ視野に入れなきゃいけないと思うんですけども、現実的に難しい問題もあろうかと思いますが、市としてはそういった状況の中で、どういうちょっと言葉悪いんですけど、ごまかしごまかしやっていくのか。しっかりとやっぱり医師を確保するっていう、糸魚川は離れ小島みたいな性質の場所ではあるが、そういった医療がしっかり充実してるんだよっていう状況をつくるとなると、私今申し上げたような条件が必要じゃないかなというふうに感じるんですが、いかがでしょうか

○田中課長補佐

病院の経営につきましては、我々今必要な支援ということで、緊急支援も含めて数年前から対応させていただいております。確かに公立化という話はですね、上越3市の会議の中でも、また6市の医療連携協議会の中でもそのような話も出てきますけれども、市としましては、やはり考え方としてはありますが、病院の施設を持つということは、後々、当然改修も出てくれば、更新も出てきますので、そういった部分までしっかり考えてですね、方策の一つではあると思いますが、慎重に検討していく必要があると思いますし、当面はやはり糸魚川総合病院が今の経営改革にも取り組んでおりますので、そういった改革を前提に、必要となる支援というところは行いながら、将来を見据えて、やっていきたいなというふうに思っております。

○田中委員長

やっぱり今の話、前段協議会のほうでもそうだけど、一応構想を検討課題としてただけれども、それでも今の糸魚川の医療機能を維持していくというふうに県のほうも言ってるわけなんで、やはり今までのこれを維持していくには、医療の人材、それから財政支援、これ、特にそういうものをしっかりと県のほうでも担保していただけるような話というのは、これからこちらからもしていかなきゃいけないし、県のほうも姿勢を示さなきゃいけないんじゃないのかなど、示してもらいたいなど。いまいち今ほどの協議会では、まだちょっと、まだ弱いなっていう印象を感じるんですけども、担当の行政のほうとしては、どのように考えてますか。

○林課長

今ほどの件ですけども、私たちも常日頃県にはそういったお話をさせていただいておりますし、今後病院の再編がなされていく中で、糸魚川については、ひとまず当面は現状維持ということが決定されましたし、方向が示されました。

ですが医師の面ではかなり状況が厳しくなっていて、新潟大学からの医師の引き上げがあったりそういったこともありますので、今後目指すのは、これからの検討委員会で議論されましても、この地域で一体的な運営をするに当たり、一体的な組織づくりと、中核病院から医師が派遣される、そういう仕組みをつくるための議論が今年度特に進められていくものというふうに考えております。

以上です。

○田中委員長

全国的な話や、新潟県内で医師が増えている。あるいは看護師もある程度維持されてるけれども、糸魚川はなかなか考えると難しいところがあるわけであって、その中で、今の機能を維持していくとなると、市単独ではなかなか財政的にもいろんな面で厳しいんじゃないのかなと思うわけです。これまで以上のものが必要じゃないかなと思うわけです。

委員の皆さんほかにございませつか。

○田原副委員長

看護師の確保で、新潟県立看護大学ありますが、なかなか地元からの進学が少ないというのも、糸魚川総合病院に行ったときにお聞きしました。

ぜひですね、医療と教育現場になってくると思うんですが、県立高校とか例えば県立看護学校ってなると、ぜひ高校生が地元の看護学校とかを目指せるような何か取組とかを医療側と学校側とっていう調整とか、何かそういう連絡会とか、そんなような方法ってあるんでしょうか。

○田中課長補佐

今年度、やっぱり看護師の確保という部分には少し力を入れて取り組んでいきたいなというふうに思っております。

先日も糸魚川総合病院を訪問しまして、看護部長とですね、少しお話をさせていただいて、現場サイドとしてどういった、先ほどの潜在看護師の話でありますとか、職場の環境の話でありますとか、現場の声としてどういったことを取り組めば、看護師の方が集まりやすい、辞めにくい体制ができるのか。また上越3市で連携して上越看護専門学校と今年はタッグを組んで入学者生徒の獲得また、卒業した方の地元への就職者の増ということで、3市一緒になって取組をしていきたいというふうに考えておりますし、県立看護大のほうも毎年訪問して意見交換をさせていただいておりますので、県などへ要望するところは要望していくんですけども、

市としてもできるところはしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

○田中委員長

ほかにございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○田中委員長

ご質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

暫時休憩いたします。

[休憩中]

○田中委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

以上で、協議題の1、上越圏域の医療再編についてを終結いたします。

暫時休憩いたします。

[休憩中]

(2) その他

○田中委員長

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に協議題の2、その他について、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○田中委員長

ないようですので、協議題の2、その他を終結いたします。

以上をもちまして予定しておりました日程が全て終了いたしました。

本日の調査に関する委員長の報告は、口頭報告とし、文案につきましては正副委員長にご一願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○田中委員長

ご異議なしと認め、そのように決しました。

以上で市民厚生常任委員会を散会いたします。

お疲れ様でした。

糸魚川市議会委員会条例第29条の規定により署名する。

委員長